

# 区政 Now ! (27年8月号)

「区政は区民を幸せにするシステムである」・・・西川太一郎

11月28日



先日、健康寿命延伸と医療費適正化を目的に発足した「日本健康会議」に実行委員として参加し、荒川区の健康・福祉分野における先進的な取組について講演してまいりました。経済団体、保険者、医療関連団体の代表が集う中、実行委員として選ばれたのは、これまでの荒川区の先進的な取組が高く評価されたことによるものと考えております。

また、以前より高い評価をいただいている永久水利の新しい施設が荒川公園に完成し、完成披露式典及び遠距離送水訓練を行いました。参加者の方々も多く、「自分たちの街は自分たちで守る」という意識が根付いてきていることを実感しました。

今後とも、様々な分野で積極的な取組を進めてまいりますので、引き続き、御理解・御協力のほどをお願いいたします。

## ● 「日本健康会議」が発足し、実行委員として参加しました

◇ 7月10日、少子高齢化が急速に進展する日本において、国民一人ひとりの健康寿命延伸と医療費適正化について、行政と民間組織が連携し実効的な活動を行うために組織された「日本健康会議」が発足し、実行委員として参加してまいりました。



荒川区の取組についての講演

◇ 「日本健康会議」は、自治体、経済団体、保険者、医療関係団体等が連携し、課題解決に向けた具体的な活動を行うことで、勤労世代の健康増進及び高齢者の就労・社会参加を促進し、ひいては経済の活性化にもつなげることを目指しています。

◇ 当日は、「『生涯健康都市あらかわ』の創造を目指して」というテーマで、荒川区が実施している「あらかわ満点メニュー」等の健康推進施策やジェネリック医薬品の普及に関する先進的な取組によって、荒川区では平成25年6月からの19ヵ月間で約1億5千万円、東京都後期高齢者医療広域連合においては、年間換算で約14億円の医療費削減となったこと等を講演してまいりました。

## ● 荒川公園で永久水利を活用した訓練を実施しました

◇ 7月26日、荒川公園に区内初の深井戸による永久水利施設が完成したことから、完成披露式典及び施設等を活用した市街地における遠距離送水訓練を実施しました。



中学校防災部も訓練に参加

◇ 今回の訓練は、東京湾北部を震源とするマグニチュード7.3（震度6強）の首都直下地震が発生し、区内では多くの建物が倒壊し、同時多発的に火災が発生したことを想定して行われました。

◇ 当日は、防災区民組織、第一中学校・第四中学校の防災部、荒川消防団等から約100名が参加し、消防可搬ポンプ（D級ポンプ）等の資機材を使用して永久水利から地下水を汲み上げ、約500メートルの遠距離送水及び一斉放水訓練を行いました。

◇ 今後とも、継続的に訓練を実施することにより、「災害で一人の犠牲者も出さない安全安心の街づくり」を進めてまいります。

主な事業

## ● 特別区全国連携プロジェクトの専用サイトが開設されました

◇ 特別区長会では、全国各地域との新たな連携を模索し、東京を含めた各地域の経済の活性化、まちの元気につながるような取組として、荒川区の発案がベースとなった「特別区全国連携プロジェクト」をスタートさせました。



全国連携プロジェクトロゴ

◇ 6月30日には、自治体間交流の入り口になることを目指して「特別区全国連携プロジェクト」の公式ウェブサイトも開設され、23区との連携事業に関する情報交換や、全国各地で行われるイベントなどのPR等を行っています。

## ● 高橋はるみ北海道知事が荒川区を訪問されました

◇ 7月9日、高橋はるみ北海道知事が荒川区を訪問されました。当日は、「特別区全国連携プロジェクト」の理念を紹介するとともに、荒川区における北海道物産の紹介・販売等の支援や自治体間の交流等について意見交換を行いました。



高橋北海道知事（左から2人目）、芭蕉像との記念撮影

◇ 区では、全国の自治体が、それぞれに持つ特性や強みを活用し、新たなビジネスモデルの開発や自治体間での人材・技術・文化等の交流を行い、相互に発展していけるよう全国連携の取組を推進してまいります。

## ● 「モノづくり見学・体験スポット」ツアー・スタンプカードキャンペーンを実施しています

◇ 平成27年8月から12月までの間、区内でモノづくりの現場見学・体験ができる「モノづくり見学・体験スポット」を巡るツアーを開催しています。



作り手との出会い

◇ ツアーでは、提灯（ちょうちん）や竹工芸、べっこう細工などの製作工程の見学や、ストラップ、オリジナルリングノートの製作などを通して、区のモノづくり産業を体験することができます。また、ツアーに参加された方や関連イベントにて有料の体験をされた方等にスタンプを1つ押印し、3つ集めた方には記念品を進呈するスタンプカードキャンペーンも行っています。

◇ 今後とも、様々な区の魅力をPRし、「人が集う魅力あるまちの形成」を目指してまいります。

## ● 南千住地区に地域包括支援センター及び高齢者みまもりステーションが開設しました

◇ 区では、高齢者の皆さまが住み慣れた街で安心して生活していくことができるよう、その中核を担う施設として、専門職員が介護や福祉等様々な面から地域の高齢者の支援を行う「地域包括支援センター」を設置しております。

◇ このたび、8月1日に、南千住一丁目に、8か所目となる「南千住西部地域包括支援センター」が開設しました。併せて、社会福祉士等の資格を持った相談員が、地域の高齢者に関する相談を受ける「南千住西部高齢者みまもりステーション」を設置し、地域包括支援センターとの密接な連携のもと、地域における高齢者みまもりネットワークを構築いたします。

◇ 今後とも、高齢者の方が地域で自立した生活が続けることができるよう、積極的に取組んでまいります。